

日常のありがたさを実感

5/31(火)に停電があり、一日電気がつかず水道の水も出なくなる非常事態になりました。そんな中できることをみんなで協力して取り組み、できる限りの節水を心がけました。電気がいつも付き、教室が明るくなっていること、蛇口をひねれば水が出ること、トイレをした後は水が流れることなど、何気ない日常がとてもありがたいことなのだ実感していました。子どもたちは文句一つも言わず、「水は節水しよう。」「はあい!」「トイレや水道は体育館の方を使ってね。」「わかりました!」など、非日常にもかかわらず自分たちができることをがんばっていました。これから何か不測の事態が訪れても、力強く乗り切ってくれそうだと実感しました。頼もしいです。

4年1組では、常に振り返りと改善を繰り返し行っています。うまくいかないことも多々ありますが、みんなめげずに努力しています。なかなか掃除終わりの5時間目のスタートが早くできない状況が続き、みんなで考えました。「先生の声かけに頼りすぎ。」「チャイムに頼りすぎ。」「時計を見なさすぎ。」など、いろいろな課題が挙げられました。子どもたちのすごいところは、次の日にはみんなで改善しようとすぐに取り組むことです。誰かが5分前行動をすれば真似をする子が出て、日直が声を掛ければ同調し、誰かが時計を見て動けば素早く反応する。他人事ではなく、子どもたち一人一人が自分事として捉え、改善しようと努力した姿が見られました。「どう先生、ぼくたちできていたでしょ?」「前よりも改善されたかな?」そんな声が聞こえてきそうな表情をクラスのみんながしていました。素敵です!「素直に先生は嬉しかったよ!」と伝えました。今後も4年1組、楽しみです!



お楽しみ会(会社企画) 企画を担当した子どもたちが中心で会を進めました。